

令和6年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン 〈5年生〉

	現状分析	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取りテストでは、定着に個人差がある。また、習った漢字を文章の中で正しく使うことに課題がある。 ・物語文では、登場人物の心情を叙述から豊かに読み取ることができる児童が多い。説明文では、筆者の主張は読み取れるが、段落相互の関係に着目して、書き手の考えがどのように説明されているかを捉えるところに課題が見られる。 ・文章を書く際、主語と述語が対応していなかったり、一文が長くなってしまったりする。原稿用紙の書き方が定着していない。 ・相手の考えを聞き取ろうとする意識が弱く、内容を正しく聞き取ったり、話を聞いて内容を広げたり深めたりする力に課題がある。違う立場の意見に耳を傾けたり、容認したりすることに課題がある児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の授業や課題の中で、習った漢字を活用して文章が書けるように指導する。漢字学習は、反復練習やテスト直しを丁寧にさせることで、定着度を高める。 ・段落相互の関係を明らかにする学習を丁寧に言い、文章の、中心となる語や文を見付ける力を伸ばす。また、グループで文章の構成を確認するなど協働学習を取り入れ、児童が学び合う授業を行う。 ・文章を書く前に中心となることや組み立てなどを整理したり、書き上がった文章を読み直したりするよう指導する。 ・児童の発言内容を繰り返さないような授業改善を行うとともに、人の話は最後まで聞くことや、要点を聞き逃さないこと等を指導する。また、話の聞き方や話し合いに対する姿勢、質問の仕方についても丁寧に指導する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に取り組む児童は多いが、世界や日本の地理についての知識・理解に個人差があることが課題である。 ・自分の予想に関する情報や資料を教科書等から見付けることができるようになってきている。しかし、調べた内容を理解して、必要な言葉や情報にしばってまとめることに課題が見られる。 ・分かったことをまとめることはできるが、そこから自分の考えをもち、広げたり深めたりする力がまだ身に付いていない。 ・自分の経験や生活と結び付けながら、その土地の特徴に関心をもつことができているが、疑問や課題を主体的に見つけようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を使った活動を継続的に行っていくことで、地理に対する関心を高めるとともに、知識の習得を図る。 ・教師が手本を示したり、机間指導で個別に声掛けを行ったりすることで少しずつ視点を覚えさせ、年間を通して継続的に指導していく。また、手本となる児童のノートを掲示し、参考にできるようにする。 ・自分事として考えられるような発問を行ったり、まとめを行った後に自分の生活や未来へと「つなぐ」活動を設定したりする。また、友達と考えを交流する活動を積極的に取り入れる。 ・疑問が浮かび上がるような資料の用意や提示の工夫を行ったり、気付いたことを学級全体で共有しながら、課題に目を向ける視点を育

	姿に個人差がある。	てたりする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組む児童が多い。 ・小数のかけ算やわり算、図形の角などの計算問題については、およそ定着が図れているが、小数の倍の学習においては、立式をする際に数直線を活用することが難しい児童が多く見られる。 ・一部の児童は、根拠を明らかにして解答を説明することができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立式をする際に数直線を繰り返し活用することで、数直線の利点を実感できるようにしながら倍の考え方の理解を深めていく。 ・中学で学ぶ「証明」やプログラミングの基本など、根拠を明らかにし、筋道立てて説明することが今後の学習につながることを、日頃から意識して指導する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の方法を考える際に、調べたい条件のみを変える必要があることを理解できた。 ・実験に対する意欲は高いが、実験の経過については関心をもって取り組んでいる児童とそうでない児童に差があった。 ・結果と考察の区別がまだ不十分な児童がいる。 ・理科室の使い方のルールを理解し、安全に気を付けて学習することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も実験方法を児童と考えながら進めていくことで、思考力を高める。 ・台風のニュースや、災害の実例を示すなど、身近に理科の学習と繋がる事象があることを知らせ、学習への関心を継続的にもてるよう、はたらきかける。 ・結果や考察を考える時間に丁寧に机間指導を行うとともに、学級全体で共有する場面で明確にしていく。文章で説明する機会を増やす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に取り組み、友達と一緒に歌ったり演奏したりすることを楽しむ姿が見られる。 ・楽曲の特徴を感じ取ったり、様子を思いうかべたりしながら聴くことができている。気付いたり感じ取ったりしたことを、友達に伝えたりワークシートにまとめたりする学習では、取り組む様子に個人差が見られる。 ・リコーダーの学習に積極的に取り組み、楽曲のリズムや旋律に気 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに主体的に活動に取り組むことができるように、様々な体験を学習計画に取り入れる。 ・楽曲を聴くポイントを提示し、音楽の要素に着目させて聴かせるようにする。友達と交流する場面を意図的に設けていく。 ・音楽づくりの活動では、個人やグループで思考する場面を設定し、表現する能力を高めていけるようにする。 ・タンギングや運指、息の強さ、音色など、個別に指導していく。リ

	<p>を付けて演奏しようとしている。運指やタンギング等技能面の習得が課題である。</p>	<p>コーダーの音色を聴く活動を取り入れ、気付いたことや感じ取ったことを伝え合う時間を設定し技能を高めていく。</p>
<p>図画工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の活動や作品に非常に興味があり、よく鑑賞し、自分の感じ方を広げたことを生かして活動をしている。新しい用具や材料にもすすんで関わり、表し方を生み出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達との関わりや鑑賞をしたことを生かして活動が広がっていくような題材を設定し、新たな発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。また、表したいことの多様性にも柔軟な対応をしていくことで、活動そのものに夢中になれるようにする。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム競技やグループ活動では、課題を解決するために積極的に話し合いをする児童が多く見られ、友達同士でアドバイスをし合うことで、苦手としている児童も参加できるように工夫する姿が見られた。 ・ 学習を振り返り、自分の課題や改善するための方法を具体的に考えられていない児童が多い。 ・ チーム競技では意欲的に運動している反面、気持ちが前面に出てしまい、勝敗ばかり気にしてしまったり、友達に掛ける言葉がきつくなってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、グループ活動を取り入れ、どの児童も運動の楽しさややりがいを感じることで授業を構成していく。 ・ 学習カード等を活用し、常に考えながら運動に取り組む姿勢を作る。その授業で何を学び、次にどのようにつなげていくのかという視点をもって振り返るよう指導していく。 ・ 全員が楽しめるようなルールを子供たちと考えたり、勝敗だけでなく運動する楽しさを感じられるような教師の声掛けを増やしたりする。チーム内のよい言葉掛けや行動を積極的に価値付けしていく。
<p>道徳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳的価値について素直に考え、自分の考えを表現することができている。友達の意見にも耳を傾けることができている。 ・ 物語を読んで、その時間に扱う価値と関係ないところに気が向いてしまう児童もいる。 ・ 道徳的価値について、これまでの自分自身の生活に結び付けて考えることができているが、今後の生活に結び付けるなど、実生活に生かすことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も様々な考えを取り上げながら、価値に関してより多面的多角的に考えられるようにする。 ・ 導入場面でその時間に扱う価値をしっかりと意識付ける。適切な補助発問を行い、児童が価値について深く考えられるようにする。 ・ 授業では、必ず自己内対話と他者との対話の時間を設定する。日常の学校生活で、学んだ道徳的価値について活用している場面を見かけた時には取り上げ、児童に価値付ける。
<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットを使って調べた内容の中から、本当に必要な情報のみにしぼってまとめる力には、課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習に入る前に事前に情報を精査して、サイトを限定することも必要に応じて行う。 ・ 参考資料の扱いの指導も継続的に行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを表現する方法や、相手に伝わるように発表する技など、調べ学習と発表の経験は、今後もたくさん積ませたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的にまとめる機会を作り、よい方法について共有しながら指導していく。 ・ICT 活用を含めて、表現方法やその工夫について、教科横断的に指導していく。
<p>外国語活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌やゲーム、ペアでのコミュニケーションを楽しんでいる様子が見られるが、技能の習得に個人差がある。 ・英語を発音することに関して自信がなく、恥ずかしさもあるせいか、小さな声になってしまったり、発言に消極的になってしまったりしている姿が見られる。 ・アルファベットやローマ字を正しく書く力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な児童でも一緒に楽しむことができるよう、様子を見ながら日本語での説明も付け加えるようにする。 ・机間指導を丁寧に行い、自信をもって英語を発音できるよう支援する。 ・ワークシートに書かせたアルファベット、ローマ字も机間指導しながら添削していく。